

令和3年度第2回山梨県富士山科学研究所課題評価の結果について

山梨県富士山科学研究所では、令和3年12月17日(金)に、当研究所において令和3年度第2回目の課題評価委員会を開催しました。

今回、評価対象になった研究課題は事後評価6件で、評価結果は、次のとおりです。

1 課題評価委員(別紙1) 委員長 平田 徹

2 評価対象研究課題

令和2年度に終了した富士山研究1件、基盤研究4件、特別研究1件、計6件に係る事後評価を行いました。

【事後評価 6件】

[富士山研究]

- ① 富士山森林限界における植生の地理的分布に関する研究 (H28～R2)

[基盤研究]

- ② 大面積方形区を用いた青木ヶ原樹海の森林構造の解明に関する研究 (H29～R2)
- ③ 富士山自然生態系モニタリングにおける衛星データ活用に関する研究 (H30～R2)
- ④ 富士北麓における草食獣3種の種間関係および行動特性 (H30～R2)
- ⑤ 古地磁気永年変化を用いた富士山の噴火履歴の解明 (H30～R2)

[特別研究]

- ⑥ 山中湖・河口湖の水質浄化のための基礎的研究 (H30～R2)

3 研究課題に対する評価結果

終了課題6課題に対する総合評価点(5段階評価)は、2.7～4.5(平均3.9)で、一部については課題も指摘されたが、概ね「妥当である」との評価結果でした(別紙2)。

〈 5段階評価 〉

- 5:非常に優れている。
- 4:優れている。
- 3:良好・適切である。
- 2:やや劣っている。
- 1:劣っている。

(別紙1)

山梨県富士山科学研究所課題評価委員会委員名簿

(任期:令和2年8月1日～令和4年7月31日)

職	氏名	所属・役職	専攻分野
委員長	平 田 徹	山梨大学 名誉教授	生態学 環境学
副委員長	石 原 和 弘	京都大学 名誉教授	火山物理学
委員	大 山 勲	山梨大学大学院 教授	地域・都市計画学
委員	松 本 英 昭	環境省自然環境局 生物多様性センター センター長	環境行政 植物生態学
委員	田 中 将 志	健康科学大学 理学療法学科 教授	代謝免疫学 生理学 分子遺伝学
委員	森 口 祐 一	国立研究開発法人 国立環境研究所 理事	環境システム学 都市環境工学

(別紙2) 令和3年度 第2回 富士山科学研究所課題評価委員会 評価対象研究課題

日時：令和3年12月17日（金）10:30～

場所：富士山科学研究所 2階 第2・3会議室

評価区分	研究種目	課題名	期間	評価点
事後評価	富士山研究	1 富士山森林限界における植生の地理的分布に関する研究	H28 ～ R2	4.5
	基盤	2 大面積方形区を用いた青木ヶ原樹海の森林構造の解明に関する研究	H29 ～ R2	3.0
		3 富士山自然生態系モニタリングにおける衛星データ活用に関する研究	H30 ～ R2	2.7
	研究	4 富士北麓における草食獣3種の種間関係および行動特性	H30 ～ R2	4.5
		5 古地磁気永年変化を用いた富士山の噴火履歴の解明	H30 ～ R2	4.4
	特別研究	6 山中湖・河口湖の水質浄化のための基礎的研究	H30 ～ R2	4.3